

ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 242



*利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の () の数字は請求記号です。)

(問) 建物^{そかい}疎開について調べたい。

(答) 【なんでも検索】に 建物疎開 と入力 ⇒ 105件ヒット

※ヒット件数が多いときは、追加機能でさらに絞り込み検索をします。

画面上部の 場所：開架 に ⇒ 25件ヒット

『語り伝える東京大空襲 第2巻』(210.75/Sa67/2 開架児童書 060004365)

建物疎開は、空襲による火災の燃えひろがりを防ぐために、建物をこわして、
空地帯などをつくることです。 □ 『語り伝える東京大空襲 第2巻』より抜粋

『昭和のくらし研究 第11号(平成25年3月)』(069/Sh97/10 開架昭和館刊行物 160003839)

『建物疎開と都市防空』(393.6/Ka92 開架一般 060005051)

『東京大空襲・戦災誌 第5巻』(210.75/To46/5 開架一般 000018869)

※さらに 建物疎開の様子が収録されている写真集などが見たい場合は…

画面左上の 絞り込み検索 - ことばで絞り込む - 写真 と入力 ⇒ 8件ヒット

『ある報道写真家の見た昭和30年史』(210.7/Ka18 開架大型 000003743)

『戦争と庶民 3』(210.7/Se73/3 開架大型 000020300)

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

広島・長崎の火

毎年、桜の開花が始まると多くの花見客で混み合う上野公園ですが、今年は少し静かなお花見になりそうです。その上野公園内にある上野東照宮の境内にひっそりと建てられていた「広島・長崎の火」のモニュメントと種火のことをご存じでしょうか。

この「広島・長崎の火」は、山本達雄さんが広島の焼け跡から福岡県星野村（現・八女市）に持ち帰った「原爆の火」と、長崎の原爆投下で焼けた原爆瓦から採火した「長崎の火」を合わせたものです。山本さんは原爆投下直後に広島市内の叔父の家に立ち寄った際燃え残っていた火をカイロの火種として故郷に持ち帰り、ひそかに灯し続けました。火は原爆投下から25年目にあたる昭和43年（1968）に同村に引き継がれ、当地にある「平和の塔」内で今も灯され続けています。63年には「長崎の火」と合火され、ニューヨークの第3回国連軍縮特別総会に届けられました。

昭和63年（1988）4月、東京大空襲によって大切な家族や親しい人びとを失った「下町人間の会」からの提唱と上野東照宮の協力により、上野東照宮境内でも「広島・長崎の火」が灯されることになりました。平成2年（1990）7月に平和の象徴である鳩をかたどったモニュメントが完成し、原爆投下から45年目にあたる同年8月6日午前8時15分に「広島火」、9日午前11時2分に「長崎の火」がそれぞれ点火されました。鳩の中で燃える「広島・長崎の火」は「平和を誓う火」として広く親しまれました。

一方で、上野東照宮の社殿等が国指定の重要文化財であることから「文化財の近くに火気がある」として懸念を示す声もありました。近年、モニュメントと種火について移設の検討が始められ、令和2年（2020）内の撤去が決定されました。移設先は福島県檜葉町にある宝鏡寺というお寺で、翌3年3月11日に点火式が行われました。

参考文献：『原爆の火の長い旅』（914/Y24 地下書庫和図書 000053625）
『原爆の火』（726/196 開架児童書 000040243）
上野の森に「広島・長崎の火」を永遠に灯す会ウェブサイト
<http://www.uenomorinohi.com/yurai.html>



「広島・長崎の原爆の火」
（上野東照宮境内 令和2（2020）年11月撮影）

ぶらりらいぶらりい～図書室にはこんな本があります～ NO. 242

2021年3月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1